

令和2年度
教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書
(対象年度 令和元年度)

令和2年12月
朝日町教育委員会

目次

1. 朝日町「教育に関する点検及び評価」について	1
2. 教育委員会の会議及び活動について	2
3. 主な事務事業と評価	
Ⅰ 家庭・地域教育	5
Ⅱ 学校教育	8
Ⅲ 生涯学習	13
Ⅳ スポーツ	18
Ⅴ 文化	22
4. 学識経験者意見	26

1 朝日町「教育に関する点検及び評価」について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、教育委員会では、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表する。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和元年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況を対象として実施した。

3 点検・評価の方法

点検・評価では、主な事業等の取組・進捗状況等により、課題等を分析し、今後の対応等を検討した。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から、様々なご意見、ご助言をいただいた。

(50音順 敬称略)

氏 名
尾山 好正
澤木 昇
松島 智子

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務～～略～～の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の会議及び活動について

1 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員等

委員等名簿（教育長 任期3年、委員 任期4年）（令和2年3月31日現在）

職名	氏名	委員就任期間・任期	備考
教育長	木村 博明	H30. 4. 1～R03. 3.31	
教育長職務代理者	南茂 敬子	H28.10.24～R02.10.23	職務代理 R1.10.1～
委員	小澤 政憲	H30. 3.24～R04. 3.23	
委員	河村 智明	H31. 3.24～R05. 3.23	
委員	コケシュ 知子	R01.10.01～R05.09.30	

(2) 教育委員会の開催状況

朝日町教育委員会は、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。また、令和元年度においては、5、6、1月に町内の学校訪問及び文化財施設訪問（まいぶんKAN）も併せて実施しました。

①開催回数 定例会12回（書面表決1回）

②会議に付された主な案件

- ・教育委員会重点施策について
- ・学校評価について
- ・令和元年度朝日中学校学力向上サポート事業について
- ・スクールバスの運行等について

その他、町議会に付議する案件等が会議に付されました。

③会議の開催状況

	出席状況	主な審議内容
4月定例会 (4月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度教育委員会事務局及び教育機関の組織について ・平成31年度小中学校学級編制について ・平成31年度小中学校管理職等一覧表について ・朝日町小中学校児童数の推移について ・全国大会等出場選手について ・学校訪問について
5月定例会 (5月27日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（あさひ野小学校） ・第26回記念“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について ・第4回全国学生ビーチボール交流大会について ・第66回下新川郡民体育大会について ・平成30年度学校評価について

6月定例会 (6月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（さみさと小学校） ・令和元年度6月議会定例会の所管事項について ・第26回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について ・第4回全国学生ビーチボール交流大会について ・全国大会等出場選手について ・令和元年度学校評価システム推進事業計画について
7月定例会 (7月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財施設訪問（まいぶんKAN） ・全国大会出場選手等について ・第26回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について ・第4回全国学生ビーチボール交流大会について ・令和2年度国県予算に対する重要要望事項について ・令和元年度通学路合同点検について ・令和2年度使用教科書の採択について
8月定例会 (8月28日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手について ・第36回全国ビーチボール競技大会について ・小学校運動会・中学校体育大会について ・令和元年度朝日町町政功労表彰受表彰者並びに特別感謝状贈呈者
9月定例会 (9月30日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月議会定例会の所管事項について ・第36回全国ビーチボール競技大会について ・全国大会等出場選手について ・第40回朝日町美術展について ・朝日町型小中連携教育推進の在り方・進め方について
10月定例会 (10月21日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手について ・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について ・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について ・中高連携推進事業教育講演会について ・朝日町型小中連携教育推進の在り方・進め方について ・市町村教育委員会研究協議会報告について ・デジタル教科書の導入について
11月定例会 (11月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季スクールバスの運行について ・朝日町美術展について ・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について ・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について ・中高連携推進事業教育講演会について ・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について
12月定例会 (12月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月議会定例会の所管事項について ・全国大会出場選手について ・令和2年朝日町成人式について ・令和2年度入学期日等の通知について

1月定例会 (1月20日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（朝日中学校） ・令和2年朝日町成人式の実施結果について ・全国大会等出場選手について ・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会について ・令和元年度卒業式、令和2年度入学式について
2月定例会 (2月26日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会について ・全国大会出場選手について ・東京2020オリンピック朝日町聖火リレーの日程等について ・令和2年度教育委員会関係予算案について ・令和2年度朝日町教育委員会重点施策について ・改正給特法による学校の働き方改革について ・新型コロナウイルスへの対応について
3月定例会 (3月27日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月議会定例会の所管事項について ・東京2020オリンピック延期に伴う聖火リレーの対応について ・令和2年度朝日町教育委員会重点施策について ・新型コロナウイルス感染症への対応について

(3)総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、町長と朝日町教育委員会が円滑に意思疎通を図り、朝日町の教育の課題、今後の方向性等を相互に共有し、効果的に教育行政を推進するため、朝日町総合教育会議を開催しました。

【会議の開催状況】

R1.11.25	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町 ICT 教育プロジェクトの推進について (学習者用デジタル教科書の導入) ・朝日町型小中連携教育の推進について ・その他
----------	------	---

(4) 研修会等への参加

教育委員研修会への参加を通して、教育委員の資質の向上を図りました。

- ・R1.7.9 富山県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
経済産業省職員による講演「Society5.0に向けた「未来の教室」」を聴講し、意見交換を行いました。
- ・R1.10.23 富山県市町村教育委員会連合会第2回研修会
射水市において、射水市教育委員会事務局職員による講演「射水市の文化財」を聴講し、海老江まつり資料館等を視察した。

3 主な事務事業と評価

1 家庭・地域教育

■施策目標

少子化が急速に進む当町にあって、子どもを取りまく環境の変化は著しい。保護者の子育てに対する考えは多様化し、家庭や地域社会の教育力の低下も問題となっている。

そこで、子どもの成長を支える基本的な生活習慣を身につけることを推進する。また、地域における人々とのふれあいや豊かで美しい自然を体験するなどの多様な活動を通して、子どもたちの心の豊かさや社会性を育む。

■取組み概要

- ①家庭・地域教育
- ②地域活動への参加

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	就学時健康診断等の機会を利用した家庭教育に関する学習会	新1年生に入学する児童に対して、11月に開催している就学時健診時に、家庭教育に関する学習会を学校と連携して実施しました。	—
	朝日町児童クラブ連合会活動補助 (住民・子ども課主管)	子どもの健やかな心と体を育むため、親子や地域の方々との世代間のふれあいや交流の機会を増やす取組みに対して補助を行っています。 ◆会員数 214人 ◆事業内容 6月 親子ふれあいフェスティバル 11月 子どもビーチ in ASAHI 1月 このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」 2月 百人一首に挑戦！ ◆指導者研修 富山県児童クラブ連合会主催の指導者講習会、指導員養成講習会	252
	放課後子ども教室 (住民・子ども課主管)	地域における健やかな子どもの育成及び放課後における児童の安全な居場所づくりの確保とともに、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを図りました。 ◆実施校 あさひ野小学校 ◆実施日数：30日 ◆参加児童数：延べ人数 354人	237
	子どもの居場所づくり事業 (住民・子ども課主管)	自治振興会では、多様な形で取り組む自主的な放課後等の子どもの居場所づくり事業を実施しています。 〈宮崎地区〉 開設日数 132日(4月～3月) ◆登録児童数 15人 延べ人数 197人 〈五箇庄地区〉 開設日数 120日(4月～3月) ◆登録児童数 9人 延べ人数 976人	1,027

	放課後児童クラブ (住民・子ども課主管)	保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、自主性及び社会性の向上や、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保を目指しました。 (あさひ野っ子放課後児童クラブ) 開催日数 259日 ◆登録児童数 80名 延べ人数 7,093人	7,878
	PTA 連絡協議会活動補助	多様化、複雑化する社会構造の中で、子どもたちの「生きる力」を育み支える PTA 活動を推進するため、町 PTA 連合会が実施する活動に対して補助を行っています。	135
	とやま親学び講座	家庭、地域、学校、行政が協力して「親を学び伝える学習プログラム(親学び)」を推進するため、各学校で講座を開催しました。 ◆小中学校 3校 3講座開催	-
②	三世代交流事業	豊かな自然・伝統文化に関する学習や地域の人々との交流を通して郷土に誇りを持ち、「朝日町を愛する子ども」を育成するため、各地区公民館にて、世代を超えて地区の伝統芸能の継承や清掃活動などの「三世代交流事業」を実施しています。 ◆100千円×10地区公民館	1,000

■成果と課題

① 就学时健康診断の際に、家庭教育に関する学習会を学校と協力して実施しており、今後とも、子どもの人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図っていきます。

児童クラブ連合会が実施している親子ふれあいフェスティバル、子どもビーチ in ASAHIなどの各事業においては、各地区単位児童クラブの協力もあり、円滑に運営されており、実人数で約200名の参加がありました。また、単位児童クラブの活動では、地域公民館と共同で、町が実施している町民清掃デーへの参加や伝統芸能の継承など、積極的に活動されており、今後とも地域活動への補助を行うなど、その活動の充実を図っていきます。

「放課後子ども教室」については、放課後における子どもたちの安全な居場所づくり、地域住民との交流のほか、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを目的として実施してきました。子どもたちはいろいろな体験や交流を通して、心の豊かさや社会性を深めており、実施日数は30日で、参加児童数は延べ人数で354人でした。

地域ぐるみの子育て支援策である「子どもの居場所づくり事業」は、宮崎、五箇庄地区の2地区で、自治振興会が主体となって実施されており、それぞれカルチャーセンターみやざき、五箇庄コミュニティセンター彩の里を放課後等に児童に開放し、地域の方に児童の遊びを見守る世話人となっていただき、放課後の児童の居場所を確保しています。

「あさひ野っ子放課後児童クラブ」あさひ野小学校校下で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保や自主性及び社会性の向上を目的とし実施しており、あさひ野小学校のミーティングルーム等を利用し、児童は宿題をしたり自由に遊んだり、「さんさんタイム」としてスポーツ、将棋、工作教室などを週一回程度行っています。

なお、「児童クラブ連合会」、「放課後子ども教室」、「子どもの居場所づくり事業」及び「放課後児童クラブ」については、住民・子ども課が主管となって事業を実施しており、今後とも住民・子ども課との連携を図り、児童生徒の健全育成に努めて

いきます。

町PTA連絡協議会では、町内の小・中・高校合同による「朝日地区さわやか運動」、「ふるさとの大クリーン作戦」などを実施しており、今後とも補助を行っていきます。

親学び講座は平成25年度から県がとやま親学び推進協議会を設置し、各市町村にとやま親学び推進リーダーやスーパーリーダーも配置され、本格的に推進事業が実施されております。各小中学校において、推進リーダーやPTAと連携し、懇談会などで子育てについて保護者が話し合い学ぶ講座を実施しました。

- ② 「三世代交流事業」については、各地区公民館で地域の伝統芸能の伝承を通して子どもから高齢者までの特色ある世代間交流を行っており、今後も取り組んでいきます。

また、各地区の活動内容について「あさひ生涯学習フェスティバル」などで発表するなど情報提供に努めました。

II 学校教育

■施策目標

学校教育においては、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力の育成及び学習意欲の向上が重要であることから各学校においてはこれらを総合的に育むと同時に、児童生徒、保護者、地域の期待に応えることのできる学校を目指し、開かれた学校づくりを推進していく。

■取り組み概要

- ①学校施設等の整備・充実及び安全対策の実施
- ②就学援助の充実
- ③特色ある学校づくりと創意ある教育課程の展開
- ④児童・生徒の健康及び安全の充実
- ⑤教育研究の推進及び教職員研修の充実

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	学校施設整備補修事業	児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく、安心して学校生活を送れるよう施設設備の安全管理に努めました。 ◆小学校：2校 51件 ◆中学校：1校 25件	3,291 1,224
	学校管理・教材教具整備事業	管理用備品・教材用備品・特別支援学級用備品・給食用備品・健康管理備品等の整備 ◆小学校 ◆中学校	3,338 1,522
	小中学校校務支援システムの導入	さみさと・あさひ野小学校及び朝日中学校に校務支援システムを導入しました。	(小)4,724 (中)2,427
	各小学校校務用パソコン更新等	各小学校の校務用ノートパソコンの更新を行いました。	10,455
	朝日中学校 iPad 更新	タブレット端末等のICT機器を有効に活用するため、中学校のiPadを追加しました。	2,582
	スクールバス運行事業	◆小学校：中型バス 1台 マイクロバス 5台(うち1台更新) ◆中学校：中型スクールバス 1台 ※冬期はマイクロバス2台を追加	22,060 5,638
	準要保護児童生徒就学援助 特別支援教育就学奨励	教育機会の確保を図るため、就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を実施しました。 ◆令和元年度： 援助費 小31名 中32名 奨励費 小6名 中3名 入学前支給 小2名 中3名	5,562

②	加藤・森島奨学金給付	高校生及び大学生への奨学資金制度の有意義な運用に努め、将来地域を担う人材の育成を図りました。 ◆令和元年度：高校生3名、大学生等3名	828
	中学校給食費無償化	朝日中学校に通う生徒の給食費を無償化しました。	13,732
	体操服支援事業	子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に対する支援を通じて、子育て世帯の負担軽減を図りました。 ◆あさひ野小学校新1年生 19人 さみさと小学校新1年生 46人	944
	地域講師活用事業	地域の人材を講師に招聘して、将棋等クラブ活動の充実や図書集会外部講師を招聘して総合的な学習の時間や生活科の時間、いのちの授業等の充実を図りました。 ◆令和元年度：地域講師 あさひ野小：いのちの授業、クラブ活動（将棋） さみさと小：いのちの授業、図書集会外部講師 朝日中：性指導、合唱コンクール審査員、ネットルール作り	小学校 16 中学校 90
③	学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業	平成19年度に策定された「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ、「確かな学力」の育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果の普及を図りました。 実施校：あさひ野小、さみさと小、朝日中	290
	観察実験アシスタント派遣事業	小学校の理科の観察・実験を支援する補助員の派遣	315
	小学校英語活動推進事業	英語教育非常勤講師の配置 (あさひ野小学校、さみさと小学校)	1,075
	外国青年招致事業	外国語指導助手（ALT）の配置	5,581
	14歳の挑戦事業	規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指し、学校外で職場体験や福祉・ボランティア活動などを行いました。 ◆朝日中学校2年生（77名） 協力事業所：30箇所	422
	中高連携交流推進事業	教科交流、部活動交流、ボランティア活動	367

	スポーツエキスパート派遣事業	部活動においてスポーツエキスパート事業を活用して、顧問と指導者が連携を図りながらスポーツの専門的な技術指導を行いました。 ◆指導者：7名 朝日中学校：バスケットボール、バドミントン、陸上競技、卓球、剣道、ソフトテニス、バレーボール	346
	スタディ・メイト配置事業	特別支援スタディ・メイトの配置を図りながら、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備して、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。	小：8,187 中：1,493
	学力向上支援サポート事業	朝日中学校において、大学との連携・協力のもと大学生の教員志望者や教員OBを「学習サポーター」として活用する学習活動サポート事業を実施し、学習相談やつまずきの解消、学習意欲の向上を図りました。 ◆学習サポーター：6名、延べ192時間	465
	適応指導教室運営事業	教育センター内にある適応指導教室「あすなる」に指導員を1名配置し、不登校児童生徒に対し、適切な指導及び助言を行いました。	1,158
④	児童生徒・教職員健康管理事業	小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査、小学校5年生及び中学校1年生を対象に専門医による脊柱側弯症検診を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。また、教職員に対し、成人病検診及びストレスチェックを実施しました。	小：1,922 中：1,119
	スクールガードリーダー配置事業	警察官OBに委嘱し、各小学校を巡回し、安全対策の指導や不審者のパトロールを行いました。	89
⑤	教育センター運営事業	教職員研修、教材の開発、学習活動研修等を実施した他、保護者からの教育相談（7件）にも当たりました。	5,405
	内地留学派遣事業	あさひ野小学校教諭1名を3箇月間大学に派遣しました。	216

■成果と課題

① 令和元年度は、小中学校の校務支援システムの導入をはじめ、各小学校においては校務用パソコンの更新、朝日中学校においてはiPadの追加を行うなど、ICT教育環境の整備に努めました。

スクールバスについては、通年のスクールバスのほかに冬期のスクールバスの運行を行い、登下校時の安全確保に努めました。

② 教育機会の確保を図るため、準要保護や特別支援教育を受ける児童生徒の就学への援助や奨励を行うとともに奨学金制度の周知と適正な運用を行い、地域を担う人材の育成に努めました。

子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に係る支援をはじめ、29年度から朝日中学校に通う生徒の給食費を無償化し、子育て世帯の負担軽減に努めました。

③ 校区の特徴や地域の伝統文化を生かすなど、特色ある学校づくりを目指し、地域

の人材を講師に招き将棋等クラブ活動を充実させたほか、生活科授業や性指導のゲストティーチャーを依頼するなど、総合的な学習の時間や道徳の時間の充実を図りました。今後も郷土を愛する児童生徒の育成のためにも地域人材の方々との連携事業が必要です。

学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業では「確かな学力」育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果と普及を図りました。学力向上のため今後も継続して実践研究を図る必要があります。

理科の授業や実験の準備を行う観察実験アシスタントを小学校へ派遣し、理科教育における観察や実験の充実に努めました。

小学校の外国語活動においては、外国語指導助手（ALT）や非常勤講師として委嘱した英語指導員から「聞く・話す」を中心に英語を使ってコミュニケーションを図ることの楽しさを知るとともに、言語や文化に慣れ親しむ学習の充実に努めました。

スタディ・メイト配置事業では、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備し、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。学校からの配置要望も多いため、今後もスタディ・メイトの人材の確保と育成を図る必要があります。

適応指導教室運営事業においては、不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対し適切な指導及び助言を行うことを目的として、教育センター内にある適応指導教室「あすなる」に指導員を配置し、児童生徒の学校復帰への支援を行えるよう努めました。

学力向上支援サポート事業においては、教員を志望している大学生や教員OBを学習サポーターとして活用し、中学校において生徒の学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を目的とした学習支援を行いました。

- ④ 小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。特に、心疾患等が疑われる児童生徒に対しては、全教職員がこれらの情報を共有し、安全に学校生活を送られるよう努めました。また、児童生徒及び教職員に対し、麻しんの罹患歴や予防接種歴の調査を行い、把握に努めました。さらに、小学校5年生と中学校1年生を対象に専門医による脊柱側湾症検診を引き続き実施し、専門医による詳細な検診の実施により、脊柱側湾症疑いの早期発見に努めました。29年度からは、教職員ストレスチェックを実施し、教職員のメンタルヘルス不調の予防に努めました。

養護教諭が行事や出張等で不在の時には、応急処置の対応及び指導ができる臨時職員を今年度も派遣し、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう努めました。

食物アレルギーについては、就学時健診の機会や進級時に調査票等で実態把握に努め、学校給食で配慮が必要な児童生徒については、保護者と個別面談を実施し、児童生徒の症状やアドレナリン自己注射薬（エピペン）保持の状況、給食対応の内容等の情報の共通認識に努め、除去食や代替食の対応を行いました。また、緊急時の対応に備え、消防機関等と情報を共有し連携を図りました。

学校においては、施設設備の安全点検、通学を含めた学校生活や日常生活における安全指導、職員の研修などを実施しました。危機管理マニュアルの内容確認を行うとともに児童生徒には日々の生活の中で危険を予測して、安全な行動がとれるように危険回避能力の育成を継続的に行う必要があります。

犯罪等の危険から児童生徒を守るため「こども110番」の家の周知や、スクールガードリーダーによる巡回を行うとともに、不審者情報等については、安全情報メールを保護者に通知するなど安全で安心できる環境づくりに努めました。

- ⑤ 郷土を愛する児童生徒の育成のため郷土の自然文化や社会など地域に根ざした教育を進める研修に努めました。児童生徒の実態や地域の特色を踏まえた校内研修や、

実践的な指導力を高める研修の継続が必要です。

教員の資質の向上については、教員一人ひとりが使命感や倫理観、人間性を高めるとともに県や関係機関と連携を図りながら研修等を実施し、教師の質の向上を図っていく必要があります。

Ⅲ 生涯学習

■施策目標

町民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、その生涯にわたって生きがいや健康の保持・増進、生活の質的向上を目指す積極的な学習活動を支援し、自主的な学習への意欲を喚起する。

1 生涯学習の推進

■取組み概要

- ①学校教育との連携
- ②生涯学習団体の育成と連携
- ③生涯学習施設・環境の充実

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	早稲の香俳句会事業	<p>社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな人づくりを図るため、学校教育と生涯学習の連携を推進する事業として、「早稲の香俳句会」を実施しました。</p> <p>俳句会では、実行委員が講師となり、小学校で俳句の授業を行う「出前講座」や、奥の細道の名句を20句覚える「暗誦運動」の取組みを行いました。</p> <p>また、町に縁のある芭蕉に因んで小学生、中学生、高校生、一般から俳句を募集しました。</p> <p>◆投句数：2,036句 ◆出前講座：2校5回 さみさと小学校5～6年生 あさひ野小学校4～6年生</p>	280
	JFA「夢の教室」	<p>子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に日本サッカー協会の協力を得て、こころのプロジェクト「夢の教室」事業を10月30、31日に、フットサルの木暮賢一郎氏、11月1日に新体操の田中琴乃氏を招いて実施しました。</p> <p>◆実施学校等：さみさと小学校5年生2クラス あさひ野小学校5年生1クラス 朝日中学校2年生2クラス</p>	570
	友好都市交流事業	<p>友好都市岩手県釜石市から中学生10人を招いて、交流・ふれあいを通じて相互の理解と将来に向けた友情を育むことを目的に実施しました。</p>	199
	朝日町高等学校海外研修事業	<p>教育、学術・文化・スポーツなどの分野における交流、視察を通じて、生徒の学力、資質の向上につながる海外研修に対し、町より補助金を交付し支援しました。</p> <p>◆泊高等学校 台湾台北 12月2日～5日 ◆魚津高等学校 アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン 12月1日～9</p>	310

	学校への図書司書の派遣	小・中学校で必要な本の選書、台帳整理のほか、児童・生徒から質問等に対応するなど、読書に親しむ環境つくりのために、各小学校にそれぞれ週2日・中学校へ週1日、図書司書を派遣しました。	2,004
②	生涯学習支援事業	少子高齢化の進展やライフスタイルが多様化する中で、心のゆとりと自己の充実を図り、豊かな生活の実現のため、各種の講座・教室を行いました。 ◆公民館講座 10地区 2,300千円 ◆公民館シニア知的生活教室 10地区 720千円 ◆町民講座 130千円	3,150
	生涯学習フェスティバル	生涯学習の推進を図るため、生涯学習団体の育成と相互の連携を推進する事業として、「生涯学習フェスティバル」を昨年に引き続き開催しました。 町内で活動している生涯学習団体や地区公民館による、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、パッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の生徒の作品を展示するとともに、軽スポーツ等体験コーナーも実施しました。 ◆実施日 11月16日・17日 ◆参加団体 19団体 来場者 1,105人	125
③	一般図書、児童図書の整備	昨年に引き続き、一般図書、児童図書の整備を実施しました。 ◆年間図書館来館者数 73,495人(前年76,918人) ・図書購入 2,556冊 ◆保有図書数 121,220冊	4,546

■成果と課題

- ① 「早稲の香俳句会」については、俳句を通じて地域の歴史に親しみ個性豊かな人づくりの機会となっております。学校の先生ではなく地域の俳句講師から学ぶ「出前講座」は、学校教育と生涯学習の連携及び学校と地域との交流を推進しております。今後とも、子どもたちの俳句への興味が増すように、趣向を凝らした事業の展開を図っていきます。

JFA「夢の教室」については、子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に、日本サッカー協会の協力を得て、フットサルの木暮賢一郎氏と新体操の田中琴乃氏を講師に招いて実施しました。子どもたちが心豊かに成長していくよい機会となっております今後とも事業を継続してまいります。

友好都市岩手県釜石市との中学生交流事業を実施し、交流地域の文化や歴史を知ること、自分の住んでいる町を再認識することや、同世代との交流を通じて友情を育むなど、多くのことを学ぶ機会となりました。

学校における図書司書の配置については、各小学校にそれぞれ週2日・中学校に週1日派遣し、本の選書、図書台帳の整理、本の修理を行うとともに、生徒からの質問に対応したことにより、それぞれの学校において図書館を利用する児童・生徒が増えました。また、小学校では読み聞かせを実施しており、引き続き、図書に親しむ環境づくりに努めたいと考えています。

- ② 「生涯学習フェスティバル」については、町内で活動している生涯学習団体や地区公民館の活動発表の場として定着しており、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、パ

ッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の生徒の作品を展示するとともに、軽スポーツの体験コーナーも実施しました。

- ③ 移転オープンしたH26年11月から5年が経過し、貸出冊数が増加しました。また、朝日町地域おこし協力隊などと協力して実施した「おとまりとしょかん」や「ぬいぐるみたちのおとまりとしょかん」などのイベントや月2回の読み聞かせ会等、読書環境の充実を図りました。今後とも、利用者の要望に沿った図書の整備や住民へのPRを工夫し、今まで以上に利用の拡大を図っていきます。

2 家庭・青少年教育の充実

■取組み概要

- ①学習機会の提供
- ②世代間交流の促進
- ③青少年の健全育成の促進
- ④生涯学習団体との連携

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	家庭教育に関する学習会	※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。	—
②	三世代交流事業	※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。	—
③	成人式	満20歳を迎えた青年が大人になったことを自覚するとともに、希望に燃える門出となるよう成人式を挙行了しました。 ◆成人者数：94名 ◆参加者数：79名	580
	有害図書等の立入調査 (住民・子ども課主管)	有害図書等・有害情報への対応として、年に1回、警察等関係団体とコンビニエンスストア、書店に立入調査を実施しました。	—
	青少年育成朝日町民会議 (住民・子ども課主管)	町内における少年の非行を防止するため巡回活動を通し、青少年の健全な育成に取り組みました。 ◆期間 6/30～3/31(活動日数：16日) 6月 全体会議 鬼遠まつり・あさひまつり会場巡回 夏休み前期・後期・冬休み・春休み巡回 協調月間(11月)巡回、街頭啓発活動	—
	朝日町「社会を明るくする運動」推進委員会 (住民・子ども課主管)	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための活動を「社会を明るくする運動」推進委員会を中心に実施しました。 6月 「社会を明るくする運動」推進委員会 7月 「泊駅」「アスカ」街頭宣伝、研修大会	—

■成果と課題

- ① 家庭教育に関する学習については、※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。
- ② 三世代交流事業については、※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。
- ③ 「成人式」は、新成人者から運営委員を募り、企画・運営から式典まで携わっていることもあり、厳粛に行われています。今後も新成人者と連携し、青年の新しい人生の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促す成人式を実施していきます。

青少年の健全育成については、健全な成長を阻害する有害図書・有害情報等への対応、若年齢層の薬物使用などが全国的に問題となっており、こうした青少年を取り巻く社会環境を整備するため関係課局や諸団体と連携し健全な青少年の育成に努めます。

3 男女共同参画社会の促進

■取組み概要

- ①男女平等意識の啓発
- ②家庭・地域への男女共同参画の推進
- ③参画のための社会環境整備

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	男女共同参画社会づくり推進事業	<p>男女の役割を固定的に捉える役割分担意識を解消するための啓発・普及活動として、富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会と共催し、男女共同参画社会の実現に向け、広く町民の理解を深めるとともに、地域における男女共同参画について考えるきっかけづくりを目的とした各種講座を開催しました。</p> <p>◆講座回数 1回（栄養講座、介護講座） ◆参加者数 9人</p>	21
② ③	富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会にて推進員の育成	<p>男女が家事・育児・介護などを共に担う家庭内での共同参画を進めるとともに、地域においても男女が等しく意見を出し合い取り組む活動を推進するため、家庭や地域における実践的活動の中心となるよう、富山県男女共同参画推進員の育成を図りました。</p> <p>定例会等 12回 広報誌「チャレンジ」の発行 1回</p>	—

④	朝日町男女共同参画社会づくり計画作成	<p>「第4次朝日町男女共同参画社会づくり計画」の策定を目指し、計画の策定委員会、審議委員会を開催しました。</p> <p>策定委員会 2回（10/10、1/30） 審議委員会 1回（3/26）</p>	
---	--------------------	---	--

■成果と課題

- ① 令和元年度は、男女共同参画の普及啓発を図るため、富山県の各自治体が主催となって隔年で開催している「女と男のパートナー会議」を開催しました。また、男女が共に成長できる家庭のあり方を学ぶための「イクメン講座」を実施しました。
- ② 男女共同参画についてより理解を深めていただくとともに、推進員の活動内容を広く知っていただくことを目的に、広報誌「チャレンジ」を一新し、男女共同参画の啓発・普及に努めました。
- ③ 女性の社会進出、少子・高齢化、家族形態や地域社会の多様化などが一層進み、社会を取り巻く環境は大きく変化をしています。しかしながら、男女共同参画のための社会環境については、依然として性別による役割分担意識が社会慣習の中で残っており、こうした状況に対応していくため、今後も継続して男女共同参画を推進する必要があります。男女がともに個性と能力を認め合う「男女共同参画社会」の実現には、事業者、関係機関・団体、行政、そして町民一人一人が、その必要性を理解し、連携・協力しつつ、積極的な取り組みを進めていくことが重要であることから、意識、固定観念を把握し、町と町民、事業者等が一体となって取り組めるよう努めます。
- ④ 「第4次朝日町男女共同参画社会づくり計画」の策定を目指し、計画の策定委員会を2回、策定委員会で策定された計画を、町長よりの諮問を受け審議する審議委員会を1回開催しました。

IV スポーツ

■施策目標

健康スポーツの推進と子供のスポーツ活動や競技スポーツの充実を図るため、町民が継続的にスポーツに取り組める環境づくりに努め、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ団体の活動を支援する。

1 生涯スポーツ社会の実現

■取組み概要

- ①健康スポーツの推進
- ②スポーツ活動を支える指導者・組織の充実
- ③スポーツ情報の提供
- ④子供の体力向上
- ⑤障がい者スポーツの支援

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	地区体育大会(体育祭)開催補助	地域住民のスポーツ振興のため地区体育大会の充実を図りました。 10地区 3,363名	300
	三世代交流スポーツ事業	地域間・世代間のスポーツ交流の充実を図りました。 ◆三世代交流 10地区 1,221名	355
	町民大会等補助金	町民が積極的・主体的にスポーツに取り組む機会を確保するため、町体育協会にスポーツ大会事業を依頼しました。 ◆20種目 1,566名	1,250
	地域スポーツ教室開催	スポーツ推進委員による教室を開催し、スポーツに親しむ機会の充実を図りました。 ◆小中学生ビーチボール教室4回 参加者延べ133名 ◆いきいきスポーツサロン4回 参加者延べ53名 ◆にこにこスポーツ広場9回 参加者延べ316名	55
	まめなけ!あさひスポーツデー開催	「体育の日」に町民が気軽に参加できるスポーツイベントを開催しました。 ◆サンリーナー帯 参加者のべ3,179名	827
	スポーツ大会開催事業	全国ビーチボール競技大会及び翡翠カップビーチボール全国大会、全国学生ビーチボール交流大会を開催し、その普及とスポーツ参加の機会づくりに努めました。 ◆全国ビーチボール競技大会 328チーム 1,595名 ◆翡翠カップビーチボール全国大会 150チーム 750名 ◆全国学生ビーチボール交流大会 24チーム 122名	5,857
	ビーチボール普及活動	県内外へビーチボールの普及活動を行いました。 ・三重県伊勢市(総合型地域スポーツクラブ) R元年実施なし	63

②	スポーツ推進委員研修	地域のスポーツ指導者の育成・確保・活用を推進し、スポーツ推進委員の資質向上を図りました。	419
	スポーツ推進サポーター事業	スポーツサポーター登録制度を設け、スポーツを支える人材の発掘と育成を図りました。	65
③	スポーツ情報の提供	町のスポーツに関わる情報を広報あさひ及びケーブル TV を通じて伝えるとともに、スポーツ教室の情報をチラシの作成とともにHPに掲載しました。	—
④	子どもの体力向上推進事業	運動好きな子どもの育成と体力の向上を目指し、体育の授業「体づくり運動」に専門の講師を派遣するなどしました。 ◆学校体育活動サポート事業（小1～小34各クラス） ◆新体力テスト業者分析（小1～中3）	443
	スポーツ少年団・指導者の育成	スポーツに親しむ子供たちの育成のため、スポーツ少年団の組織、指導者の育成等の支援を行いました。 ◆スポーツ少年団 8団体 148名	200

■成果と課題

- ① 地区体育大会（体育祭）には、町内10地区で天候不良等の理由からのべ3,363人が参加でありましたが、参加者においては各種目を通して競い合いながら、運動に親しむとともに、地域住民間の親睦を深める機会となりました。三世代交流スポーツ事業では、各地区で歩こう会やパークゴルフ大会、ビーチボール大会などが実施され、幼児から高齢者まで、世代を超えた交流が深まり、一体感や活力のある地域づくりが推進されました。

「体育の日」に広く町民が参加できるスポーツイベントとして『2019まめなげ！あさひスポーツデー』を開催し、幅広い年代の方々に運動やスポーツに親しむことのできる機会をつくとともに、体験や展示等を通して各スポーツ団体の会員の充実・拡大のきっかけづくりを行いました。また、「夏休み小中学生ビーチボール教室」や子どもから大人までスポーツに親しむ機会や運動に取り組む習慣づくりをねらいとした、「にこにこスポーツ広場」を開催しました。また、冬期間の運動の機会づくりとして「いきいきスポーツサロン」を開催するなど、地域スポーツ教室として年間17回のべ502名が参加しました。

スポーツが日常の生活に定着するよう、今後も各種イベントやスポーツ教室の開催、支援に努め、健康スポーツを推進します。

第36回全国ビーチボール競技大会には328チーム、1,595名、第26回翡翠カップビーチボール全国大会には150チーム、750名が参加し、ビーチボール競技を通してスポーツに親しむとともに交流を深めました。また、4回目となる全国学生ビーチボール交流大会を開催し、24チーム、122名が参加し初めてビーチボールを経験する人も含め、若い世代にも朝日町でビーチボールに親しんでもらう機会の拡大を図りました。

全国ビーチボール大会未参加地域にビーチボールの普及活動として、三重県に向きビーチボール実技研修を行いました。今後もビーチボール普及活動に努めます。

- ② 指導者の育成については、指導者の資質向上を図るとともに、新たな指導者の発掘に努め、研修の機会を設けるなど、スポーツの環境整備により努めます。
- ③ スポーツ情報については、広報あさひ、ケーブルテレビ、町HPを活用し、各種大会、スポーツ教室の開催案内を行っており、今後も住民の皆さんが興味・関心をもって主体的にスポーツ活動に取り組んでいただくように、情報発信の拡充に努めます。
- ④ 子供の体力向上については、運動好きな子どもの育成と体力の向上を目指し、

小学校低・中学年の体育の授業において専門の講師を派遣し、体づくり運動を実施しました。また、平成30年度より町内の子供のスポーツ団体等に対し、体育施設利用料を無料とする支援を行い、積極的に体を動かすことができる環境づくりに努めました。

2 競技スポーツの推進。

■取組み概要

- ①ジュニア指導・選手の育成
- ②組織の育成

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	各種全国大会などの出場選手の派遣奨励	全国大会等出場者に激励金の支給や激励横断幕の掲揚をし、積極的に派遣奨励を行いました。 ◆全国大会等出場選手 31名	763
	青少年競技力向上支援事業	青少年の競技力向上を目指す事業への支援を行いました。 ◆1団体	121
	大学合宿招聘事業	日本体育大学アーチェリー部を招聘し、泊高校アーチェリー部への指導や小中学生の体験教室を行いました。	515
②	スポーツ大会等の後援	競技力向上に向け、各種競技大会の後援を積極的に行いました。 ◆後援申請承認数 38事業	-
	町体育協会活動補助金	競技スポーツ団体育成のため町体育協会組織強化のための支援を行いました。	90

■成果と課題

- ① 競技力向上に向け、「町青少年競技力向上支援事業補助金」制度を活用し、朝日中学校にて朝日中学校運動部活動講習会の開催支援を行いました。今後もニーズに応じた講習会や教室等を開催、支援し、優秀選手の育成・強化に努めていきます。
さらに町体育協会、競技団体との連携をより強化し、積極的に大会の開催・誘致の支援を行い、これまで以上に小・中学生を中心に競技力向上への意欲を高めます。
- ② 町内で開催される各種スポーツ大会の後援及び町体育協会への活動補助を行い組織の育成を図りました。

3 スポーツ環境の整備

■取組み概要

- ①拠点施設の整備・拡充
- ②総合型地域スポーツクラブなどの支援

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	体育施設管理事業	朝日町文化体育センターの周辺案内看板書換え工事などを行いました。また、まちなか体育館の利用も H30年4月末より始まりしました。 ◆サンリーナ施設利用者数 114,837名 ◆パークゴルフ場利用者数 23,992名 ◆キャンプ場利用者数 12,287名 ◆まちなか体育館利用者数 5,311名 ◆小丸山グラウンド利用者 103名	45,976
	学校体育施設開放事業	小学校2校、中学校1校において学校体育施設開放事業を行い、利用促進を図りました。 ◆16団体利用 ◆利用数：延べ651回 延べ9,505名	744
②	スポーツクラブ・サークル活動の支援(ひすいスポーツクラブ)	町民がいつでも、どこでも、体力やそれぞれのニーズに応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブへ事業委託するなどの支援を行いました。 ◆子どもの運動能力向上事業(キッズ&ジュニアコアトレーニング教室) 36回 494人 町内で活動するスポーツサークルなどをイベントや広報において紹介しました。	419

■成果と課題

- ① 体育施設をより安全で快適に利用していただけるよう計画的に老朽化した設備について更新工事を実施しました。小丸山グラウンドにおいては、定期的にグラウンド整地及び除草を実施し、利用者の拡大に努めていきます。

武道館及び屋内グラウンド建設事業については、平成30年12月に両施設共に完成し、1月末より多くの方々にご利用いただいております。また、朝日まちなか体育館は、5,000人を上回る利用があり今後ともスポーツ施設としての利用だけでなく、公民館事業での活用や、周辺施設と連携した事業等によるまちなかの活性化を目指し、町民が利用しやすい施設づくりに努めていきます。

学校体育施設開放事業は、それぞれ学校体育施設において町民の利用促進を図っています。学校開放の利用者は地区のスポーツ愛好者グループやスポーツ少年団などの団体で、さみさと小学校は11団体、あさひ野小学校は3団体、朝日中学校は2団体が利用されました。今後とも、引き続き学校や利用団体との連絡体制を保持し、町民が利用しやすい環境づくりに努めます。

- ② ひすいスポーツクラブでは、町民が手軽にスポーツに親しむことができる教室や事業を実施しています。クラブへの toto 助成や町の補助金が終了し、子供向けの教室が減少傾向にあることから「子どもの体力向上」をめざす教室開催を委託し、支援しました。

今後も町民のスポーツニーズを把握するように努め、クラブの教室や事業運営等に、適切な支援・助言をします。

V 文化

■施策目標

人々の価値観が物の豊かさから心の豊かさへ変化している中、町民の芸術・文化活動の振興や支援を行い、文化の香り高い町づくりを進める。

1 芸術・文化施設の活用と充実

■取組み概要

- ①文化体育センター・生涯学習館・ふるさと美術館の活用
- ②美術作品の収集

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	芸術・文化施設の活用	生涯学習館 詩吟や大正琴、オカリナサークルなど芸術・文化活動の場となっています。 ◆利用者数 2,765人 ふるさと美術館 郷土出身の芸術家の作品をはじめとして、郷土にゆかりの深い芸術を中心に、優れた美術作品を紹介しています。 ◆観覧者数 5,202人	7,728
	常設展・企画展・特別展	芸術文化の拠点であるふるさと美術館では、館蔵展、企画展、郷土作家展等を開催して町民の芸術鑑賞機会の充実を図りました。 ◆館蔵品企画展 絵画アレコレ展 4/13～6/2 ◆企画展 二科会写真部富山支部グループ展 6/8～7/15 ◆特別展 岩田長峯展 7/26～9/16 ◆企画展 富山を描く会創立10周年記念展 10/4～11/4 ◆郷土作家企画展 朝日町美術展40周年記念展 同時開催 館蔵品企画展生誕110年井口文秀展 11/13～12/22 ◆ふるさと美術館に年賀状を送ろう展 1/18～2/2 ◆郷土作家展 住吉由佳子 作・新作展 2/8～3/29	4,599
②	美術作品の収集	次の作品 22点の寄贈がありました。 ・井口文秀 絵画 1点 ・長崎巴人 絵画 5点 ・長崎助之熊 絵画 1点 ・林 清納 絵画 3点 ・黒崎陽人 絵画 1点 ・炭田幸一 絵画 3点 ・谷口山郷 絵画 3点 ・鹿熊 要 絵画 2点 ・佐々木幸雄 絵画 3点	—

■成果と課題

- ① 文化施設の活用については、ふるさと美術館では、町内の保育所園児や小・中学生に年間を通じて同伴者1名も無料で美術館に来館できる「子どもパスポート事業」を実施し、観覧者数を増やすことに努めました。
 今後も、地域に密着した施設としての活用を図ることが必要であり、文化・芸術の振興を推し進めるためにも、より一層の充実を図っていきます。
- ② 芸術振興の充実のため、郷土ゆかりの作家などの作品収集に努めるとともに、収蔵品の適正な管理に努めます。

2 芸術・文化活動の促進

■取組み概要

- ①芸術・文化サークル・団体の育成
- ②講座・美術展の開催
- ③芸術・文化情報の提供

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①②	朝日町美術展	町の芸術・文化の活性化を図るために、公募による第39回美術展及び小・中学校美術展をまちなか体育館で開催しました。 ◆10月31日～11月4日(5日間) ◆部門 「絵画」「写真」「書」「彫刻・工芸・デザイン」 ◆出品数 140点 ◆入場者数 1,460人	1,162
	講演会・美術展等の後援	芸術団体等の講演会・美術展等の後援を行いました。 ◆後援申請承認数 39事業	—
③	芸術・文化情報の提供	町の芸術・文化に関わる情報を広報あさひ、チラシ等に行っています。	—

■成果と課題

- ①② 文化の香り高い町の実現のためには、町内の文化サークル・団体の活動を積極的に支援することが大切です。40回目となる朝日町美術展には、140点の出品があり1,460名の来場者がありました。また、昨年度に引き続き、小・中学校美術展を同時開催し、連帯化を図りました。
- ③ 町の芸術・文化情報については、マスコミや広報あさひ、ケーブルテレビなどを活用し開催の周知を図っており、今後も芸術・文化情報を提供していきます。

3 文化の保護と活用

■取組み概要

- ①埋蔵文化財などの公開と施設整備の充実
- ②文化財の調査・研究・保護・継承
- ③伝統芸能の継承と文化の創造

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	埋蔵文化財保存活用施設運営事業	朝日町埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」では、朝日町で出土した土器、石器や農山漁村で使用された民具、下山新遺跡、境A遺跡、柳田遺跡等で出土した遺物の常設展示や、各種イベントを開催するとともに、通常体験として、勾玉作り・火起し、錫アクセサリーなどの体験教室を行いました。 ◆観覧者数 2,012人 ◆体験者数 637人	10,361
②	文化財の管理・保護	文化財の管理・保護事業として次の事業を実施しました。 ・指定文化財所有者への文化財保護管理交付金の交付 29件 ・指定史跡の草刈、清掃 ・不動堂遺跡管理 復元住居建物薫蒸、周辺立木剪定、芝刈り等	1,727
		浜山玉づくり遺跡樹木伐採搬出処理工事	1,793
	文化財の調査	・試掘等調査	0
③	あさひ芸能文化祭	朝日町の芸能・文化団体が、文化体育センターに一堂に会し日頃の練習成果を発表しました。 ◆実施日 11月17日 ◆出演者数 17団体 観覧者数 977人	274

■成果と課題

- ① 埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」運営については、常設展示のほか、郷土の博物学者森群平と国立科学博物館標本展などの企画展を行いました。また、イベントとして明治記念館の下張り古文書はがし体験教室やエゴマ種まきワークショップなどを開催したほか通常体験として勾玉づくり、火起こしなどの古代体験を年間通じて実施し、利用者の増加に努めました。
今後も、新たな企画展や体験メニューを企画するなど内容の充実を図るとともに、広報やホームページなどを通して情報提供を盛んにして、利用者の増加に努めていきます。
- ② 文化財の管理・保護については、浜山玉づくり遺跡樹木伐採工事のほか町指定文化財保護交付金の交付、不動堂遺跡公園の保全・修繕などを実施しました。

- ③ あさひ芸能文化祭は、町内の伝統文化を継承する団体や芸能サークル等の団体が一堂に会し、日頃の活動の成果を発表する場として多くの住民の来場をいただいております。今後も新規団体の発掘や観客数増員も含めて、広報やケーブルテレビなどを積極的に活用していきます。

4 学識経験者意見

○ 家庭・地域教育

- ・少子化が進むにつれ教育力の低下も問題になっている中、放課後子ども教室や子どもの居場所づくり事業などがありがたい。教育委員会が、令和4年より実施する保小中一貫教育も、教育力低下の解消につながるものと思う。
- ・美しい自然に触れる体験をするなど、子供たちの心の豊かさを育てたい。
- ・放課後子ども教室・子どもの居場所づくり事業、放課後児童クラブは、放課後の子供たちの安全な居場所づくりに役立っているので今後も継続していただきたい。
- ・とやま親学び講座は、親同士が考えを自由に出し合えて、答えがなく自分たちの意見でグループごとに解決できる点は、価値感が多様な親たちが互いに学び合えるよい機会であると思う。これからも継続して取り入れて行ってほしい。
- ・あさひ野小学校区で行われている放課後子ども教室については、児童クラブの職員の方々が膨大な時間をかけて準備し、適切に行われていたと思う。また、地域の先輩方から物事を学ぶ事は大変重要なことであり、とても良いことだと思う。しかし、講師の方々と打ち合わせをしたり各家庭と連絡を取ったりと、職員の方々の負担がとても大きいように感じられる。また、あさひ野小学校区だけで行われていることの不公平さも感じる。

○ 学校教育

- ・就学が困難な児童生徒の保護者に対しての必要な援助がありがたい。次年度もコロナ禍で増えると思うので、これからもお願いしたい。
- ・スタディメイト配置事業の継続をお願いしたい。
- ・小中学校校務支援ソフトの導入は、教員の手助けになり、その時間が個別指導や子供とのふれあいの時間の確保、生徒指導等に使えるので有効だと感じた。
- ・中学校の給食費の無償化は、すばらしい取り組みだと思う。今年度はコロナ禍で小学校に導入されたと聞く。朝日町では、子供の総数に比較して要援護の児童数が多いと感じている。コロナ禍で金銭的に困っている母子家庭が多いのではと想定される。今後も継続されることを望む。
- ・小学校の入学する子供たちの体操服の購入は、入学に係る親の負担を軽減するすばらしい取り組みである。県下のどの市町村も取り入れていない事業である。
- ・スタディメイト配置事業は、先生方の活動を支援するだけでなく、学習で困っている子供たちへの個別指導がスムーズにできるので有効である。今後とも手厚い支援体制の継続をお願いする。
- ・学力向上支援サポート事業は、学習相談やつまずきの解消に大いに役立っている。今後も継続して取り組んでほしい。教職員の健康管理事業では、メンタルヘルスにも配慮し、精神的な障害者を出さない取り組みをお願いしたい。
- ・次年度中学校でも主要5教科でデジタル教科書の導入がされると聞く。有効な活用を図ってほしい。また、タブレットを使ったICT教育も進んでいると聞く。研修を通して教員の

指導力向上を図り、機器が有効に活用できるよう取り組んでほしい。

- ・スタディメイト配置や学力向上支援サポートの事業は、親目線でも大変ありがたい事業であり、これからも継続していただきたい。
 - ・これから保小中一貫教育を推進されるとの事ですが、教員に負担がかかり過ぎないか危惧しています。新聞に掲載のように行事を精選し、教員の負担を減らしていただきたいと思う。
- 生涯学習
- ・学校教育と連携し、有識者の「出前講座」などを通して、子供たちに自己の特技を見つけてほしい。夢をもってほしい。
 - ・早稲の香俳句会事業は、町内のいくつかの句会の方が講師となり出前講座を実施している。国語の学習内容にも取り入れられていて、子供たちが俳句を学ぶことに大いに役立っている。小さい時から俳句を詠めるなんてとても素敵なことだと思う。今後も継続してほしい。
 - ・JFA「夢の教室」事業では、著名なスポーツ選手が小中学生に指導をしている。憧れの選手たちから楽しく運動することを学んでいる。子供たちの夢を育む活動になっている。
 - ・学校への図書館司書の配置は、図書台帳の整理や新刊図書の選定に大いに役立っている。図書館司書が配置されたことによって子供たちが図書館を利用しやすい様に環境が整備され、読書好きの子供たちを増やしている。今後も継続してほしい。
 - ・生涯学習フェスティバルは、それぞれの団体の発表の場でありとても意義のある事だと思う。一方、生涯学習フェスティバルは町の他の行事と重複することが多い様に思われる。コロナのこともありますので行事を精査、集約されたらと思う。
- スポーツ
- ・サンリーナ周辺施設は大変によいと思うので、大いに利用してほしい。
 - ・サンリーナ⇒越山⇒ふるさと歩道⇒三峰⇒南保富士の往復、5時間トレッキング、森林浴なども健康によいと思う。
 - ・スポーツだけでなく音楽関係の大会出場者にも激励金が出ていると伺いました。とてもありがたい事だと思います。派遣奨励は、これからも継続拡大していただきたい。
- 文化
- ・文化豊かな町を多くの人々に知ってほしい。特に遺跡の多さと境A遺跡のすばらしさなど。
 - ・まいぶんKANに展示されている町内遺跡から出土した土器や石器が分りやすく展示されており、歴史教育に活用してほしい。また、「境A遺跡」から出土した土器・石器が県から町に移譲されることが内定したと聞く。歴史的に価値のあるすばらしい遺産を今後のふるさと教育に有効に活用してほしい。
 - ・ふるさと美術館の企画展・特別展は毎回すばらしかった。朝日町には、芸術家がたくさんいらっしゃるの、企画展と合わせてワークショップをしていただきたい。町の芸術家と住民のつながりができるとともに、集客も望めるのではないか。